

「先日、池上彰氏が MBS テレビの生放送で
『国の借金が 1000 兆円超えてるから当然増税になる。』
と言っていましたか？」

令和 2 年 6 月 3 日

●池上彰撲滅さんからの質問

先日、池上彰が MBS テレビの生放送で「国の借金が 1000 兆円超えてるから当然増税になる。定額給付金は前借りなので、いずれ私達が返さなくてはいけない」など、とんでもない嘘を言っていました。この様な人がいるとせっかくの給付金が使われず景気浮上や財政出動の妨げになってると思います。池上彰の様な嘘つきをテレビから追放する事は出来ないのですか??

●西田昌司の答え

前回、私が一問一答で池上さんについて取り上げた『池上彰氏が「赤字国債が発行されるが、いずれ国民が税金でこの負債を返す」と話していますが?』の動画の再生回数がぐんぐんと上がっていますが、それだけ池上さんに対する憤りを皆さんが覚えているのでしょう。

池上さんにはもう一度言いますが、「定額給付金は前借りなので、いずれ私達が返さなくてはいけない」なんてことはありませんし、そのようなことは麻生大臣でも言っていません。「借金は返さなければならない」というのは、個人レベルでは全く正しいのですが、これを政府に当てはめてはなりません。

『オペレーション Z』という小説を書いた小説家の真山仁氏と、財務省トップの岡本薫明次官との対談が『東洋経済』に載りました。『オペレーション Z』は、日本国債が暴落する中、破綻回避のために国の予算を半減する極秘

作戦に取り組む首相や若手財務官僚らを描いた小説ですが、二人の対談も日本の財政破綻を匂わせるトーンに満ちていました。

対談の冒頭、岡本次官が

（社会保障、年金、医療、福祉、教育といった）コストはどうか。民主国家においては、これを税金で負担してもらう形になります。本来は、負担していただく範囲内で行政サービスを提供するのですが、経済や社会が大きく変化すると、歳入と歳出に差が生じて、それが財政赤字になります。これは借金として、将来返済する世代に負担を負わせることになります。今の日本の財政はこのような状況にあります。

と、（池上さんと同じく）国債発行が「将来返済する世代に負担を負わせる」といった出鱈目発言していますが、一体何を言っているのでしょうか。

岡本次官は、国会でもそのような発言をできるのかどうか、一度彼を国会に呼んでやりたいくらいに思います。国会においてそのような出鱈目発言をしたらそれこそ一大事となりますし、岡本次官といえども流石に国会の場で嘘は言えないでしょう。現に、5月26日の財政金融委員会において、私が財務省官僚に

国債は幾ら出しても財政破綻しないと、自国債は。これは、黒田総裁もおっしゃっていたし財務省のホームページにも書いてあるんですよ。そうすると、それが事実でしょう。この事実かどうかだけ、じゃ、財務省教えてください。

と問うたところ

記述そのものがあることは事実でございます。

と、財務省官僚があっさりと認めています。

最近、日本の財政破綻などあり得ないということが国民にも少しずつ浸

透してきましたし、財務官僚であればこのようなことを知らないわけがありません。国債の償還日が来たら借換国債を発行すれば済んでしまいますので、国債の期限は事実上ありません。ですから、財政破綻のしようがありませんし、私が彼らに問い詰めるとしぶしぶ認めはします。しかし、「かと言って、いくらでも国債を発行して良いわけではありません」と、財務官僚根性を簡単には引っ込めません。

MMT は、(日本のような自国通貨建て国債を発行している国においては、過度のインフレにならない限り) 国債発行の上限はないと言っていますが、私はもう一つ、国債発行を制限するファクターがあると思います。それは「モラル」です。

もしも、全てを国債発行で賄って無税国家にしてしまうと、働かなくても良いということになってしまってモラルが崩壊しますし、おカネの集まるどころにはどんどん集まってしまって貧富の格差も極大化してしまいます。税金を納める必要もなく働かなくても良いということになってしまったら、人間は墮落してしまいますし、そのような社会となってしまうたら国が持たないのは当然です。このように、税金には様々な役割 (CO2 を減らしたければ炭素税を導入することで効果が得られます) がありますし、無税国家というわけにはいかないのです。

但し、今のようにコロナ禍に襲われて経済が落ち込んでいる時には、無理に税金を徴収する必要は全くありませんし、政府の自粛要請によって売上が落ちてしまったのであれば、その分を政府が補償して国民を救わなければなりません。徴税したり、あるいは逆に給付したりといったことは全てモラルに基づいて行うべきですし、コロナ禍の状況において財政再建を叫ぶなどは全くのナンセンスです。

池上さんと岡本次官は、政府と国民の間のあり方について根本から考え直さなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>